



くりはら

市議会だより

第36号

平成25年8月1日

6月23日(日)、一迫の山王史跡公園あやめ園の広場で、第28回みちのく鹿踊大会が開催されました。

大会のフィナーレを飾ったのは、地元一迫の「早川流 清水目八ツ鹿踊保存会」の鹿踊り。注目のめじかは雌鹿にふんした尾崎愛莉さん(一迫小3年)の演技、今回が初舞台のあいくるしくも元気な姿でした。

大型補正予算 46億円を追加 2

子どもの医療費 中学生まで無料 4

議会報告会運営調査特別委員会を設置 5

一般質問

改選後最初の質問 13人登壇 7

「私もひとこと」

白鳥文雄さん(一迫)・小野寺とみ子さん(瀬峰)

12

一般会計 予算を可決 46億円を追加



着々と建設が進む八日町住宅（栗駒地区）

6月定例議会は、6月11日から25日までの15日間の会期で開かれ、一般会計を始めとする各種会計の補正予算案や条例案など30件を審議し、全議案を原案のとおりに可決しました。また、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、同意しました。

政策的経費を計上

今年度の一般会計当初予算は、4月に行われた市長と市議会議員の選挙のため、義務的経費などの骨格的予算編成となっており、今回の補正予算において、初めて政策的経費が計上され、バランスの取れた予算構成

となりました。

今回の補正予算は46億1807万円の大型補正となり、その結果、一般会計の予算総額は419億2907万円になりました。

市民注視の主要事業

一般会計の主な補正予算につきましては、次ページ

に示したとおりですが、それぞれ分野での特徴的な事業を見てみましょう。

「Ⅰ」の公営住宅建設事業では、栗駒の八日町と瀬峰の定住促進下藤沢住宅の建設などが計画され、住環境リフォーム助成事業は、バリアフリー化や省エネ化と一体で実施する場合に助成が受けられます。

「Ⅱ」の幼保一元化施設整備事業は、栗駒と志波姫の幼保一体化施設の整備が進められます。

「Ⅲ」の子ども医療費助成事業では、所得制限を撤廃し、すべての小・中学生の入院と通院の医療費の自己負担額分が助成されることになりました。

「Ⅳ」の観光施設・登山道整備事業では、ハイルザーム栗駒や栗駒山登山道の整備、いこいの村栗駒の解体などが予定され、栗駒山麓ジオパーク構想推進事業には、7月に設置された推進

放射能対策は万全に

協議会の活動資金としての補助金が計上されました。「Ⅴ」の自治会活動事例発表事業は、事例発表会を開催し、優秀な取組みは賞金を添え表彰されます。

「Ⅵ」では、放射性物質吸収抑制対策事業で、水稲や大豆などの吸収抑制のための資材配付などを進め、



ジオパークの認定に向け協議会を設立（議長の祝辞）

牧草地除染対策事業では、自力除染が困難な民有採草地の除染が計画されます。また、観光情報総合発信事業や地域活性化PR事業では、コマージュ放送や旅雑誌への観光資源やイベントなどを広告掲載し、情報発信を図ることや、独自キャラクターの作製や大型看板も設置されます。各事業の堅実で早急なスタートが期待されます。

一般会計補正予算の主な内容

I. 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち

- 道路交通の安全確保 5億5200万円
- 公営住宅建設事業 3億7431万円
- 都市計画街路事業 2億8333万円
- 住環境リフォーム助成事業 5000万円
- 「美しいくりはら」景観計画策定調査事業 820万円

II. 豊かな感性と生きる力を育むまち

- 文化施設改修事業 1億669万円
- 幼稚園整備事業 8474万円
- 幼保一元化施設整備事業 8460万円
- 陸上競技場施設整備事業 1147万円
- 教育研究センター設置事業 134万円

III. 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち

- 子ども医療費助成事業 2996万円
- 保育所改修事業 631万円

IV. 地域の特性を活かした、産業と交流が盛んなまち

- 観光施設・登山道整備事業 4億2073万円
- 農業用施設補修事業 2億8718万円
- 栗駒山麓ジオパーク構想推進事業 1375万円
- 雇用拡大奨励金（追加分） 800万円
- 6次産業化支援事業 1027万円
- 定住促進事業 1007万円

V. 市民がまちづくりを楽しめるまち

- 地域集会施設新築・改修事業補助金 3682万円
- 住民自治活動助成事業（追加分） 3000万円
- 自治会活動事例発表事業 300万円

VI. 震災からの復興を成し遂げ、発展していくまち

- 放射性物質吸収抑制対策事業 2億14万円
- 牧草地除染対策事業 1億円
- 観光情報総合発信事業 7000万円
- 栗原市地域活性化PR事業 409万円

大型補正



楽しい給食（鶯沢地区幼保一元化施設）



解体される「いこいの村栗駒」



反転耕での牧草地の除染作業



子どもは栗原の宝

10月から 子どもの医療費

中学生まで窓口で無料 所得制限も撤廃

乳幼児医療費助成条例を改正

子どもの適正な医療機会の確保と、子育て家庭における経済的負担軽減を図るため、所得制限の撤廃と現物給付による「窓口で無料」とすることなど、これまでの施策を拡充するものとなります。

災害公営住宅14戸 市営住宅に追加 市営住宅条例を改正

若柳地区に建設していた災害公営住宅10戸を上堤住宅、栗駒地区4戸を神明住宅として新たに追加されます。

また、建て替えを行った栗駒地区上町裏住宅を八日町住宅（56戸）、瀬峰地区下山住宅を下田住宅（5戸）として、新たに市営住宅として追加されます。



建設中の災害公営住宅（若柳地区）

可決した
主な条例

栗原市長等の期末手当の特例に関する条例

国からの地方公務員の給与削減に関する要請に対する市の取り組みとして、平成25年12月支給の期末手当について、市長30%、副市長20%、教育長および病院事業管理者10%が減額されます。

栗原市子ども・子育て会議条例

子ども・子育て支援事業計画の策定、施策について調査審議などをする機関として「栗原市子ども・子育て会議」を設置することを定める条例です。

栗原市新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザの発生時に、その脅威から国民の生命と健康を守り国民の生活や経済に及ぼす影響が最小限となるようにするため、新型インフルエンザ等緊急事態が宣言された際、実効的な体制を確保するための対策本部を設置することを定める条例です。

意見書

6月定例議会には、2件の意見書が提出されました。いずれも原案のとおり可決し、関係行政庁などに送付しました。内容は次のとおりです。

子どもの入院及び通院に係る医療費助成制度の拡充を求める意見書

(文教民生常任委員会提出)

平成24年12月に、通院にかかる医療費助成制度の対象年齢を、小学校就学前まで拡充するよう求める意見書を宮城県に提出していましたが、宮城県の「乳幼児医療費助成制度」は、全国的に見るといまだに低い水準にあります。

このため、栗原市における子どもの入院および通院に係る医療費助成制度の対象年齢と同様の基準(中学校卒業)までの拡充を求めるものです。

日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

(議員提出)

核兵器のない世界への行動が開始され、日本政府が多くの国々と協力し、核兵器全面禁止条約の必要性と、その実現のための行動を求めるものです。

人事

○人権擁護委員

千葉 章子さん(若柳) 再任

陳情

件名	陳情者名	処理方法
木材利用推進に関する要望書	宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部 支部長 佐藤 則明	紹介
「地方公務員給与」削減に反対する要請書	日本労働組合総連合会宮城県連合会(連合宮城) 会長 山崎 透 連合宮城仙北地域協議会 議長 藤村 孝喜	紹介
日本政府に対して、「核兵器全面禁止の決断と行動を求める」意見書提出のお願い	2013年原水爆禁止国民平和大行進 宮城県実行委員会 代表委員 青木 正芳ほか14名	紹介 (意見書を可決)



昨年の報告会の様子(築館地区)

今年は10月下旬に開催予定

栗原市議会では、市民に開かれた議会を目指して、議会の状況を開示し、市民の意見を広く取り入れるため、議会が地域に出向き、直接議会活動の状況を説明するとともに、自由活発な意見交換を行い、市民の声を議会として市政に反映させるべく、議会報告会を開催します。

市民の声を市政に反映

議会報告会運営調査特別委員会

そこで、議会報告会の円滑な企画運営と議会報告会に基づく政策課題の設定および政策立案、提言に向けた調査研究を行うため、議会報告会運営調査特別委員会を設置しました。

7人で構成
特別委員会

特別委員会は、副議長および各常任委員会から2人ずつの計7人で構成しています。(任期は平成27年4月30日まで)

正副委員長および委員については、次のとおりです。

- 委員長 五十嵐 勇
- 副委員長 佐々木幸一
- 委員 沼倉 猛
- 委員 佐藤 久義
- 委員 鹿野 芳幸
- 委員 佐藤 悟
- 委員 佐藤 文男